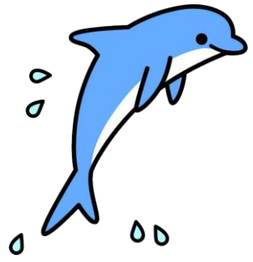
はとほーむ

村山苑



第 44 号

目次

１、家族会の散歩

２、写真館　　ショートスティについて

３、母の日　　父の日

４、高齢者の機能訓練について

【家族会の散歩】

五月十五日（日）午後、家族会主催による春の散歩会を実施しました。

お天気にも恵まれ、快晴の中、春の日差しを体で感じながら、入居者の皆様はハトホーム周辺を付添いの方との談笑を楽しみながら、お散歩されていました。

参加者は入居者様、家族会、職員等で二十九名となり、散歩コース途中の公園では、水分補給をして小休憩しました。

また、公園にて、集合写真の記念撮影をし、無理なく、安全に、参加者の皆様はお散歩を満喫していました。

入居者様からの参加の感想としては、「また、次回も参加したい。」、「花が咲いていて綺麗。」「お話をしながら散歩するのは楽しい。」など、多数のご感想をいただきました。

今後も、入居者様に楽しみのある生活を送っていただくためにも、お散歩の機会は大切であると感じました。

高齢者の機能訓練について

機能訓練指導員　竹内文成

リハビリテーションは「生活機能」の再建、すなわち「生活の再建」といわれています。「生活の再建」には病気の治療や機能回復訓練も必要ですが、それだけで十分でないことは明らかです。日常生活活動が出来るように、周りの環境を整備したり、車椅子やシルバーカーなどの福祉用具を利用したりしています。

ハトホームでは入居者が百八十人います。一人の入居者につき週二回、リハビリ訓練を行っています。入居者の状態によって内容が違います。

リハビリの内容ですが、機能訓練指導員のマッサージや平行棒内、ボール投げ等を行っています。楽しんで参加しています。

これは何でしょうか？
正解はホットパックです。
温めています。

● 私たちと一緒に働いていただける方を募集しています。

介護職・看護師

食事のお手伝い（資格不問）

洗濯場（資格不問）

お気軽に是非ご連絡ください。

☎042-393-7574（採用担当まで）

● ギャラリースペースのご案内

ハトホーム１階のギャラリースペースでは、地域の方々の絵や写真などの作品を展示させていただいております。

作品展示についてのお問い合わせは下記まで。

☎042-393-7574（担当者まで）

本文デザイン　ハトホーム広報委員
発　行　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
〒１８９－００２４　東村山市富士見町２丁目７番５号
TEL　０４２－３９３－７５７４
E-mail　hatohome@murayamaen.or.jp
発行人　畠山　千春
編　集　ハトホーム広報委員会　　2016 年 8 月末日　発行
※ホームページも更新しています。　http://www.murayamaen.or.jp
※個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ、写真・作品を掲載しています。

ショートステイを通して社会貢献の一翼を担いたい

生活相談員　渡邉孝臣

平成二十八年一月一日付けで、ショートステイ専任担当として就任いたしました。以前は障害者の入所施設に勤務していたので、特養のショートステイは初めて関わる仕事であり、不慣れな為、皆様に大変ご迷惑をおかけしています。日々動く申し込みに対し、調整に追われています。

利用者様は地域の方々が対象になりますので、仕事を通して地域の抱える様々な課題が見えてきます。高齢者同士の介護、介護者の病気・入院による切迫性、介護疲れから虐待に至ってしまうケースなど、ショートステイを利用される目的が、ぎりぎりのところまで追い詰められ、行き場のなくなってしまっている例が少なくありません。また、在宅生活を継続することが困難となり、施設に入所できるまでの間、長期でショートステイを利用されるケースも増えています。

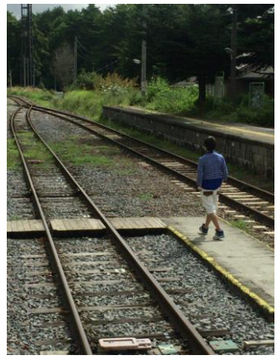
このように、緊急に救済を求めてこられる方が増えているため、部屋を調整しながら極力受け入れられるように務めて参ります。また、むらやまえん生活相談所と連携し、法制度の対象外の利用者様を緊急に受け入れることも、平成二十八年度の事業計画に盛り込んでいます。ハトホームのショートステイが、地域の方々に手助けになると共に、村山苑の掲げる地域社会貢献を具現化していく一翼を担えれば幸いです。

忙しい仕事の中でもほっとさせられるひと時があります。契約で利用者様のお宅を訪問した際、利用者様が、私をお客さんとしておもてなしをして下さることです。お気遣い無くと何度も伝えても、不自由な体で、お茶を入れて出していただいた時、本当にありがたくいただきました。私が帰る時、歩行器を押してわざわざ玄関まで来て見送って下さる方もいます。

高齢の利用者様と接することは、過去の時代からの長い人生との関わりでもあり、それは、おもてなしの心を大切にする古き良き日本文化との出会いであると感じました。今後も仕事を通し、このような出会いを大切にしていきたいと思います。

写真館

テーマ：ドキドキ・わくわく



スタンドバイミー？

押さないで!!

お立ち台

そんなに見ないで

まだまだ現役

もうすぐハロウィン

母の日

五月八日は母の日でした。今年もハトホームでは、母の日をお祝いし、女性の入居者のみなさんにカーネーションをお贈りしました。カーネーションの花束を持ち、記念撮影を行うと、みなさんとてもいい笑顔を浮かべて下さいました。

さて、皆さんはなぜ母の日にカーネーションを贈るようになったのか御存知ですか？この習慣は、アメリカのある女性が母の命日に母の好きだった白いカーネーションを教会で配った事が始まりとされています。その後、アメリカで五月の第二日曜日を母に感謝する記念日にし、それが日本にも伝わったようです。今ではポピュラーな記念日ですよね。

カーネーションには花言葉があります。それは「愛」です。しかし、色によって花言葉が違うそうです。赤いカーネーションは「母の愛」「愛を信じる」。ピンクは「感謝」「暖かい心」。オレンジは「純粋な愛」。黄色は「軽蔑」。紫は「誇り」。青は「永遠の幸福」。白は「尊敬」ですが、亡くなった母へ贈る色とされています。カーネーションも様々な色があるので、花言葉を踏まえつつ、選ぶのもいいかもしれません。一番はやっぱり、赤のカーネーションでしょうか。とても綺麗ですね。

父の日

今年の父の日は、六月十九日でした。

ハトホームでは、男性入居者の皆様に黄色いバラを贈り、記念撮影を行いました。皆様共に、花束を持ちながら満面の笑みを浮かべていらっしゃいました。

さて、父の日の由来ですが、アメリカのある女性の行動が、発祥とされています。母に先立たれた父に、男手一つで、自分を含めた六人兄妹を育ててもらったこの女性が、母の日の存在を知り、父に感謝の気持ちを伝える日も必要だと考え、父の日の制定を提唱した事で浸透していきました。

彼女が、他界した父の墓前に、バラの花をお供えした事が、バラを贈る由来とされています。

一般的に、父の日に贈るバラは、ご健在の方へは「赤いバラ」、亡くなられた方へは「白いバラ」をお供えするものとされています。

ご健在のお父様に、黄色以外のバラを贈りたい時には、気を付けるようにしたいところです。

日本は、「黄色いバラ」が主流ですが、その理由は、戦時中のアメリカで、戦場に向かう大切な人が、無事に帰って来られるよう祈願を込めて、玄関や庭の木に、黄色いリボンを結んでいた事が、日本に伝わり、そのリボンが、黄色いバラへと変わり、父の日に贈る花になったとされています。

ちなみに、黄色のバラの花言葉は「嫉妬」「薄れゆく愛」「友情」など、あまり良い意味合いではありません…。

綺麗ですが、黄色いバラの花言葉を知っているお父様には、贈らない方が無難かもしれません。